

台湾+福建省の「三通」「兩岸關係」調査ツアーのご案内

いつも東アジア経済研究センター協力会や大阪能率協会、京都中小企業家同友会が後援し、日中友好経済懇話会が主催してきました中国ツアーは下記の日程にあるようについに大陸と台湾を結ぶ航路にまで進みます。ツアー副団長は大森経徳東アジアセンター協力会副会長、顧問は大西広経済学研究科教授です。中台間の交流はついに2008年、台湾政府が通商・通航・通郵の「三通」を許可することとなり、2009年からは航空便だけで週270便の便が中台間で飛び交うようになっています。この航空便の内、今回福州・台北間に我々も搭乗し、かつ海運の「三通」も台湾最大の港高雄で見学します。また、廈門の沖合にあり、台湾政府支配下にある金門島にも立ち寄り、1958年の大陸軍との激戦の後を見学するとともに、ここから廈門への船による通過を果たします。この間の通行は「小三通」と呼ばれ2008年の「三通」より先に始まっていました。

また、今回訪問します廈門大学は企業経営者の2代目を育てるMBAコースを開いており、そこの交流となります。2010年の5月にこの代表団が京都大学に來訪した際には東アジア経済研究センターと共同で交流セミナーを開催しました。また、企業訪問は、福州と台南の1社を訪問しますが、どれも台湾企業で、中台間の経済関係がどこまで深まっているかの調査となります。

最後に、特に中国側で訪問する福州、廈門の2都市はどちらも見どころ豊富な都市です。福州には尖閣列島問題で話題となった沖縄との古くからの交流の歴史があり、琉球墓などの記念物がありますので、これをぜひ訪問したいと思っています。また、林則徐の祠堂もあります。また、廈門には、コロンス島や胡里山砲台、鄭成功記念館もあります。時間の許す限り訪問できるようにしたいと考えています。

なお、1泊追加で台北に宿泊・観光を希望される方にはオプション・コースも予定しています(追加料金2万円(2人1室)。中村(FAX 075-254-2341 または 211-6474)までお名前、ご住所、連絡先などをお知らせください。費用は2人1室利用で175000円(当初ご案内より安くなりました)を予定しています。

日程	交通手段		宿泊
3/20 (火)	朝便で台北へ 台北からは新幹線で 台南へ(車内で食事)	台南で台湾系液晶企業訪問	台南
3/21 (水)	午後便で金門島へ	午前には高雄に移動して港湾見学 午後 金門島で馬山観測台から廈門を展望	金門島

3/22 (木)	午後に船で厦門に	午前に金門島で 1958 年の激戦跡をと地下要塞を見学 午後は厦門に渡って厦門大学 MBA コースと交流	厦門
3/23 (金)	午後にバスで福州へ	午前にコロンス島、胡里山砲台等を見学 夕刻に福州で JETRO 福州の講演を聞く	福州
3/24 (土)		午前に福州の日系進出企業を訪問 午後に琉球墓、林則徐祠堂など見学	福州
3/25 (日)	福州から台北経由で 関空に帰国	午後 帰国	